

大槌刺し子

OTSUCHI SASHIKO

「刺し子」とは、布を合わせて綴り縫い、または刺し縫いをする針仕事のこと。

昔は貴重なものであった布地を縫い、補強して、大切に使っていました。

とくに東北では厳しい寒さをしのぐため、布を重ねて保温する独自の技法が発達し、
今でもその土地特有の刺し子が残っている地域が多くあります。

8年前の震災で、家も仕事も失った働き者の女性たちに「やること」をつくりたい。

5名の若者と、大槌の女性たちが発起人となり、

2011年6月から「刺し子」で作った商品の製品販売がスタート。

無印良品との取り組みは、2013年から始まりました。

無印良品

